

学校名 桶川市立桶川小学校
所在地 桶川市西一丁目4番27号
電話 048-771-1259

1 本校の概要

本校は、桶川駅を中心に南北に学区をもち、今年14周年を迎えた児童数634名の中規模校である。

「笑顔あふれ、歌声ひびく桶川小」をスローガンに掲げている。明るく素直な児童が多く、図書室の利用も活発で本によく親しんでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 朝の読書タイム

毎週金曜日に全校一斉の朝読書を行っている。教員も児童と一緒に読書をする時間になっている。

イ 読書月間

毎年10～11月の1か月間を読書月間に設定し、読書を推進するための様々な取組を行っている。

- ① 読書の木…各学級1枚読書の木を掲示し、1冊読むごとに木の実を1枚貼る。多く読んだ5名までに、多読賞の授与。
- ② スタンプラリー…図書室の各分類1冊読むごとにスタンプを押す。
- ③ この本読んだよ(本の紹介カード)…読書月間の期間内に読んだ本の中から1冊を選び、紹介カードを書き、各クラス1点の作品を掲示。
- ④ 読書集会…図書委員会が劇を行い、もっと読みたいという意欲の向上を図っている。
- ⑤ 図書委員によるブックトーク…各クラスにおすすめの本を紹介する。



ウ 図書ボランティアによる取組

毎週金曜日の朝2年生を中心に教室で読み聞かせを行っている。毎年12月には、新たに作成した大型絵本を全校集会で披露し、手作りの葉を全児童にプレゼントしている。学期始めにも、低学年向けに、大型絵本の読み聞かせを行っている。



エ ビブリオバトル

毎月の最終金曜日に、全校でオリジナルのビブリオバトルを行っている。自分のお気に入りの本を友達に紹介し、チャンプ本を選んでいる。

オ 環境整備

低学年のクラスへの学級文庫の設置。図書室から遠い学年の近くには、学年文庫を設置し、空いた時間に本に触れられる環境を整えている。

学校図書館教育補助員と連携して、季節の掲示や読書を啓発する図書委員のおすすめ本などの掲示をしている。

3 成果と課題

(1) 成果

・読書タイムや読書月間、図書ボランティアの取組により、図書室の利用者数が増加した。図書室の整備により、足を運びやすい環境になってきている。

(2) 課題

・授業で図書室を利用することが少なく、具体的な活用例の発信や、教材の提供をしていきたい。
・児童の読む本に偏りが感じられる。様々な本を手取る工夫をしていきたい。又、継続して読書しようとする児童の育成を図りたい。

(3) おわりに

比較的読書量が多いように感じられるが、読む本に偏りを感じているため、様々な本と出会えるよう、図書室の環境を整えていきたい。